

## 第 2 回検討会における主な意見について

---

危険物施設におけるスマート保安等に係る調査検討会（第 3 回）

消防庁危険物保安室

## 第2回検討会における主な意見について

### デジタル技術を活用した定期点検について

【デジタル技術により可燃性ガスを可視化することで、危険物の漏えいを検査を高度化する方法】

- カメラを高所に設置することで人の立入りが困難な部分を常時監視できるメリットがある。カメラの位置によっては死角が発生すると考えられる。
- 当該機器は、漏れた危険物を検知するものであるため、事故の未然防止の観点からは適さない。一方で、可搬式のカメラ等を通常の点検と組み合わせることにより、点検の補助として有効である。

【地下貯蔵タンク（鋼製強化プラスチック製二重殻タンク）の外殻点検を圧力センサーの制御により自動化する方法】

- 制御機器自体の性能は十分である。製品化が望まれる。
- 外殻の点検を自動化することが可能となれば、人間が定期的に立ち入らずに点検が可能となることが期待される。

### 可燃性蒸気の滞留範囲の明確化について

- ニーズとしては、点検や在庫管理等に使用するタブレット等を危険区域で使用したい。
- 可搬式の電気機器であれば、事故等が発生した場合でも外へ持ち出せば良いが、固定式の電気機器については、地震等の対応のためのインターロック機能等が必要ではないか。

### セルフ給油取扱所におけるAIの活用について

- AIシステムだけでなく、従業員の体制等も含めたハード・ソフト全体でセルフ給油取扱所のリスクレベルを低減させることが重要である。
- 全国的にAIシステムを導入し、実証実験ができるような環境の整理を行うことが必要と考える。

### 危険物の流出防止に効果があると認められる措置について

- 溝等については、危険物の取扱方法及び数量を考慮した上で、有効な幅及び深さを有するものとすれば効果がある。